JFA
日本フリスビードッグ協会会報
2018　January
URL http://www.frisbeedog.co.jp/

SKY DOG® SPORT

vol.28

敗者復活戦からの大逆転劇 !!

岩村康一朗 & biscuit

特集 JAPAN FINAL 2017 in 越後川口

● 大会レポート・DAY-1　10月21日(土)

今回は7年ぶり2度目の開催となった、新潟県「川口運動公園野球場」にてジャパンファイナルが開催となりました。大会1日目はフリーフライト D-1 MAX チャンピオンシップ、ユースオールカマー（個人戦・団体戦）、シニアドッグの部、ペアの部の日本一決定戦が行われました。

心配された天候は選手の願いが届いたのか雨は降らず、曇り空の下ではありましたが熱戦が繰り広げられました。

● フリーフライトD－1MAXチャンピオンシップ

ランキング上位13チームによって行われた 1st ステージ。各チーム緊張感漂う中、大舞台ということでプレッシャーも感じながらのスタート。

本来のトリックや俊敏な動きが見られず、ミスも重なるなどパーフェクトなプレーが出来たチームはほとんどなく、勝負の行方は 2nd ステージに持ち込まれました。

迎えた 2nd ステージ。昨年僅差で優勝を逃した前野直&SKY チームが追い上げを図るもランキング上位3チームもまた本来の力を発揮。澤幹子&SID チームが 63.35 ポイントでトップに立つ。

しかしながら優勝争いを演じたのは年間ランキング1・2位を激しく争った2チーム。間美加&Durandal チームが 68.09 ポイントまで伸ばし結果を待ちます。

迎えた年間チャンピオン澤幹子&ZORRA チーム。こちらも持ち前のスピードとテクニックでギャラリーを魅了すると 70.65 ポイントを出し見事優勝！ 自身8度目となる頂点に輝きました。

● ユースオールカマー日本一決定戦

近年ここをステップアップにし、公式戦で大活躍するチームが増えているカテゴリーとなっているユースオールカマー。各リージョンのチャンピオンも含め、優勝チームには翌日のグランドチャンピオンシップに出場という戦いが幕をきって落とされました。

第1ラウンドでは田澤秀孝&グータンチームと吉武まな美&LUSH チーム、さらには五十嵐裕香&Lilli チームが 34 ポイントを出しトップタイに。それを 32 ポイントで伊原明良&Lara Croft チームが追う形になりました。

迎えた第2ラウンドではやや出遅れていた吉武竜司&LUSH チームが 40 ポイントというビッグポイントを出しまな美選手と共に決勝進出。同じく一柳浩一&でとねぇチームも 33 ポイントで追い上げ堂々決勝進出を決めると、遠山瑠恩&GENTIL チームも予選を突破。九州勢が大挙4チーム決勝進出を決めました。それを迎えうつ形で田澤秀孝&グータンチームが意地を見せて決勝へ。

迎えた決勝ラウンド。トップバッターの田澤秀孝&グータンチームが後続にプレッシャーをかけるべくパーフェクトの 34 ポイントを出すと、負けじと一柳浩一&でとねぇチームが持ち前のロングスローで攻め立てフルマーク3本を含めた 44 ポイント！ この後の3チームは力が入ったのかポイントを伸ばすことが出来ず、圧倒的なパフォーマンスを見せた一柳浩一&でとねぇチームが見事優勝！ 翌日のグランドチャンピオンシップ最後の1枠を手にしました。

団体戦ではこちらも圧倒的なスコアで他を寄せ付けなかった、吉武竜司&LUSH チーム、吉武まな美&LUSH チーム、紙漉祐次&sherry チーム福岡県が優勝を決めました。

● シニアドッグの部

7 才以上のシニア犬によるチャンピオン決定戦。多くのノミネートチームは、フリスビードッグを長く楽しみ、この日の決戦の場を迎えました。長く続けたチームほど、コンビネーションはピッタリ。息の合うプレーを見ることが出来ます。しかし、シニアドッグとなると、気力体力はどうしても年々変化してくる中、走るスピードなどにタイミングを合わせる苦労もあります。

第 1 ラウンドに唯一 30 ポイントオーバー、32 ポイントを出したのが、山王克宏&セロリ（ボーダーコリー）チーム。ついで、28 ポイントで池元英彦&Funk（ゴールデン）チームと中川剛彦&凛子（ボーダーコリー）チーム。20 ポイント前半のチームも多くいる中で、各チームが後を追う形となりました。

シニアドッグの体力の競い合いでもあろう第 2 ラウンド、ここで良いポイントを並べてくることが出来るかが、決勝ラウンドへの鍵となります。第 1 ラウンド上位 3 チームは、ミスをはさむチームはありましたが、決勝へ進出。残りの決勝枠の争いは、20 ポイント台前半のポイントを持つチームが、第 2 ラウンドで、安定したポイントを獲得して決勝進出。予選結果、第 5 位が並び決勝進出数は 6 チームとなりました。

3 ラウンド目となる決勝ラウンドでは、投げ手が最も気を使うところでしょう。攻めるか守るかの攻防戦です。しかしながら、ここまで上がって来たチームは、ロングを交えた攻撃的なプレイスタイルのチームばかり。シニアながら、もっともエキサイティングなプレーを見せたのは、柏原克彦&ACUTO（ボーダーコリー）チーム。元々ロングを攻めるタイプのチームで、ロングを 3 本決めた後の最終スローをロングエリアで一旦ファンブルするも、ACUTO が自ら距離を伸ばし最高ポイントエリアでリカバーをし、決勝ラウンド見事パーフェクト。決勝ラウンドポイントは33ポイント。合計ポイント81ポイント。後続のチームを抑えた上、上位チームは81ポイントに及ばず。結果、柏原克彦&ACUTO（9歳）チームが、2017 年度シニアドッグ部チャンピオンに輝きました。

● ペアの部

ペアの部チャンピオン決定戦は、ご家族とペアを結成するチームや、お友達とのペアなどで出場されている方、様々なペアチームがいるだけに、その対決は微笑ましい場面がありながらも、真剣勝負の場となります。

予選 1 ラウンドで決勝進出チームが決まるペアの部。決勝進出をかけて一発勝負のラウンドの開始です。予選トップとなったのは、チームベスト 60 ポイントを出した、間美加・一柳浩一&DeepSky（ボーダーコリー）チーム。それについで、若手の高橋未夢・和田瞳&綱手（ボーダーコリー）チームが 54 ポイント。残りの決勝進出枠は 1 つ。ここに滑り込んだのは、中辻邦子・中辻哲治&じゃが丸（ボーダーコリー）チーム。予選ポイント 44 ポイントでした。

決勝ラウンド、女性ながら二人ともにロングを攻める若きペア、高橋未夢・和田瞳&綱手チームが、最高ポイントエリア（10 ポイント）での 4 キャッチを含め、ワンミスながら 56 ポイントを取り猛追随。合計ポイント 110 ポイントまで伸ばして、予選第 1 位の結果を待ちます。50 ポイントで並び、51 ポイント以上で勝利するという、決して楽ではない状況の中で、一柳選手はロングから最高ポイントエリアを攻め、間選手はミドルエリアへと絶妙なディスクコントロールで攻める戦法。結果、パーフェクトプレーを見せ、計ったように 51 ポイントを獲得。終わってみれば、僅か 1 ポイント差で、間美加・一柳浩一&DeepSky チームが、ペアの部チャンピオンに輝きました。

2017年10月21日(土)・22日(日)
川口運動公園 野球場（新潟県長岡市）

主　　催　日本フリスビードッグ協会
共　　催　公益財団法人 山の暮らし再生機構
後　　援　長岡市
協　　力　川口運動公園管理グループ
協　　賛　株式会社 一榮商會／株式会社 レシアン／限会社 谷尾興産／株式会社 メガスポーツ／アース・ペット株式会社
特別協賛　コニカミノルタNC株式会社／株式会社エーダイ／株式会社ソルメディエージ／フェイズ株式会社／有限会社 きゃすと
東光株式会社／新潟ふるさと村

● 大会レポート・DAY-2　10月22日(日)

グランドチャンピオンシップ、レディースチャンピオンシップ、スモールドッグチャンピオンシップの日本一が決定する決戦日。グランドチャンピオンシップが開催される日は、過去を振り返っても、荒れる可能性が高いという印象が強い。しかし、あいにくの雨模様ながら、風は弱風。雨でグランド状況は悪いが、風は選手たちに味方をしてくれました。

● グランドチャンピオンシップ

2017 年度シーズンでは、ベテランプレイヤーが率いる、競技犬のニューフェイス登場が目立ちました。ジャパンファイナルの場にも、ノミネートを受けたチームや、敗者復活から勝ち上がった強者。そして、ジャパンファイナル第 1 日目のユースオールカマーチャンピオンシップの勝者を含む全 61 チームが、フリスビードッグ日本一の座を争います。

ユースオールカマー日本一から始まった第 1 ラウンド、その後に早くもゲームの流れを変えたのが、敗者復活からの勝ち上がりチーム、ゼッケン NO.57 岩村康一朗&biscuit（ラブラドール）チーム。40 ポイントをマークし、ランキング上位チームにプレッシャーをかけます。第 1 ラウンド終了まで、このポイントはトップを守り続け、30 ポイントオーバーは 18 チームとなりました。

第 2 ラウンド、ユースオールカマーから勝ち上がってきた、一柳浩一&でとねぇ（ボーダーコリー）チームが、第 1 ラウンド 31 ポイントに 37 ポイントを加え、68 ポイントで後続の流れを作りました。40 ポイントを持つ、岩村康一朗&biscuit チームも 36 ポイントを加え、合計 76 ポイント。この後も、第 1 ラウンド第 2 ラウンドを 30 オーバーで揃えてきたチームが、決勝進出へとコマを進める結果となると思われましたが、ランキング第 2 位の山口朋孝&アミュレット（ボーダーコリー）チームが、第 1 ラウンド痛恨の 2 ミス 24 ポイントから、第 2 ラウンド 40 ポイントを叩き出し、決勝へ滑り込んできました。

ベテラン勢が経験をいかして攻め続けるか、新鋭チームでは、ロングを交えた 6 投を可能とする、スピード感あるプレイスタイルの岩村康一朗&biscuit チームか、ロングヒッター一柳浩一&でとねぇチームが対抗するかという決勝ラウンドです。

決勝ラウンド、第 5 位から小井正&Eldrick（ボーダーコリー）チームが、39 ポイントを出し、合計 105 ポイントで上位にプレッシャーをかけます。予選 2 位から 4 位まで、102 ポイントまで伸ばすも及ばず、予選トップ岩村康一朗&biscuit チームは 29 ポイント、合計 105 ポイントとなり、小井正&Eldrick チームと並び、勝敗は優勝決定戦までもつれ込みました。結果、優勝決定戦を制したのは、敗者復活から勝ち上がってきた岩村康一朗&biscuit チームが、日本一の栄冠を手にしました。

● レディースチャンピオンシップ

雨の影響でグランドコンディション不良の中、ランキング上位チームに敗者復活を勝ち上がったチームを加え３９チームが女王の座をかけて熱い戦いを繰りひろげました。

迎えた第１ラウンド、唯一の３０ポイントを叩き出した松尾直美&AERA チームがトップに立ちます。それを２ポイント差で追いかけるのは高橋未夢&綱手チームと遠山修子&GENTIL チーム。さらに４ポイント差で２年連続３度目の頂点を狙う高橋純代&Iris チームが続きます。

第２ラウンドでは一転、各チームが本来の力を発揮し高ポイントも出始めます。

そんな中、高橋純代&maia チームが３６ポイントを出し一気に決勝進出を決めると和田瞳&苺チーム、２０１７年年間チャンピオンに輝いた小松崎優美&ミアチーム。さらに地元開催で勢いに乗る五十嵐香織&Lilii チーム、長谷川政代&ブルー・オーシャンチームと地元新潟と関東勢が大挙し決勝にコマを進めると、遠山修子&GENTIL チーム、さらには２位に８ポイント差をつけ松尾直美&AERA チームが予選トップ通過を決めるなど関東 VS 九州の図式となりました。

迎えた決勝ラウンドは大波乱の展開に。

決勝がスタートすると独特の雰囲気の中、本来の力をなかなか出せないファイナリスト。

そんな重苦しい展開の中、五十嵐香織&Lilii チームが２７ポイントを出し後続にプレッシャーをかけますが、長谷川政代ブルー・オーシャンチームが２８ポイントを出し応戦。しかしその２チームを力でねじ伏せたのは高橋未夢&綱手チーム。ロングスローで攻め続け２４ポイントを出しトップに立ちます。それでも予選で８ポイント差をつけ有利な状況は変わらない松尾直美&AERA チーム。１７ポイントを取れば優勝という中、ミスが重なりまさかの１２ポイント。

結果、敗者復活から勝ち上がった高橋未夢&綱手チームが見事優勝！

父・毅一選手、母・純代選手に続き高橋家３人目のチャンピオンに輝きました。

● スモールドッグチャンピオンシップ

小型犬の日本一を決めるスモールドッグチャンピオンシップ。

ランキング上位チームとこちらも敗者復活から勝ち上がったチームを含め 29 チームによって争われました。

特にスローイングスキルが問われるプレーヤーたち。コンディションも考えながら１投１投ピンポイントに狙いを定めなければならない一戦となりました。

第１ラウンドトップに立ったのは１４年、１５年と２連覇し３度目の優勝を狙う上川成年&LUKE チーム。それを２ポイント差で追うのは三ケ田鈴香&サードチーム、さらには４ポイント差で地元の桐山一宏&COSTA チームが追随します。

迎えた第２ラウンドに思わぬアクシデントが…。

トップで折り返した上川 LUKE チームがまさかの棄権。優勝候補の突然の離脱に、優勝争いはますます混沌としてきました。

ここで第１ラウンド出遅れた、2017 年間チャンピオンの佐藤一弥&ライリーチームが地力を発揮し第２ラウンドトップスコアとなる２５ポイントを出し滑り込みで決勝進出を決めると、小型の革命戦士こと榎硲博昭&銀次郎チームも気合で決勝進出。さらには関東の強豪、加藤宣文&夢結チームも加わりサード、COSTA と共に決勝へ。

迎えた決勝ラウンド。ミスやファールなど普段では考えられない展開が続き優勝争いは上位２チームに絞られる。地元の大応援団に迎えられ登場した桐山一宏&COSTA チームは堅実なプレーを見せ見事４投パーフェクト！トップに立ち地元での日本一に望みをつなぐ。迎えた最終チーム、三ケ田鈴香&サードは１投目こそミスが出るがその後は安定したスローを続け見事 COSTA を抑え優勝！ 父・達也選手と共に歩んで迎えた７度目のファイナルで見事栄冠を勝ち取りました。

、

岩村康一郎 & biscuit
2017・グランドチャンピオン

JFA のスタッフの皆様、競技に参加された皆様、会場であるいは web 上の速報を見ながら応援してくださった皆様、本当にありがとうございました。夏頃にファイナルの会場が新潟に決まった後、今年も敗復戦からの出場を目指すことを決心しました。

妻にそれを伝えましたが一笑に付され、のちに『日本一なんてなれるわけないのに、練習なんかしてバカだ。』と言っていたと、幼い子どもたちから聞きました。

私の中にいまだかつてない激しい怒りのマグマが沸き起こり、次第に戦う闘志へと変っていきました。昨年のファイナルで惨敗した経験を生かすべく、今年は出来る準備は全てやってファイナルに臨むことを心がけました。友人や幼い子らも会場で応援＋サポートをしてくれました。

本当にありがとう！2018 年シーズンも出場機会は少ないですが出来る限り出場し、敗復戦からのファイナル出場を目指します。

三ケ田鈴香 & サード
2017・スモールドッグチャンピオン

2017 シーズンお疲れ様でした。

我が家で生まれたサードも気づけば 9 歳。シニアになりいつまで一緒に出来るかと考える事が多くなりました。

だからこそ去年のファイナルは悔しくて悔しくて…。

2017 シーズンはサード共々不調続きで悩みもがいたシーズンでした。そんななか今回のファイナルでサードは最高のプレゼントをくれました！！

他の子ではなくサードととりたかったスモチャン。

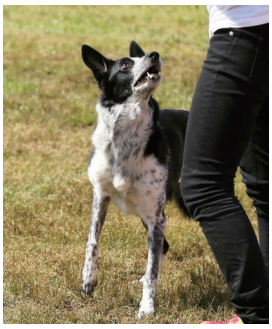
自分が投げれればサードは答えてくれると自信はありましたがドキドキで、決勝では完全にのまれてしまった感じでしたがサードがカバーしてくれ、そしてついに念願のサードとのスモチャン！

サードとの夢が叶いました！

サード、支えてくれた両親、応援団組だったエース達に感謝、そして 1 年間共に戦ってきた仲間の皆さん、スタッフの皆さん、応援していただいた皆さん本当にありがとうございました！

まだまだ新シーズンもサードと楽しく頑張っていきたいと思います！

高橋未夢 & 綱手
2017・レディースチャンピオン



JAPAN FINAL 2017 お疲れ様でした。

パートナーの綱手と 5 回目のファイナル出場でした。色々な事があった 5 年間でした。

綱手に信頼されたくて、ただフリスビーを投げてくれる人と思われたくなくて、綱手と二人きりで散歩したり、投げ練したり、どう投げればキャッチしやすいか考え、試行錯誤の繰り返しでした。

ファイナルではいつものように思いっきりプレーし、綱手を気持ちよく走らせよう。それしか考えないようにしました。

本当にあっという間の 1 分間でした。

頑張って走ってくれた綱手、本当にありがとう。大好きな綱手とフリスビーが出来る事がとても幸せです。

応援してくださった方々、支えてくれた家族、JFA スタッフの方々、本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願い致します。

澤 幹子 & ZORRA
2017・D-1 MAXチャンピオン
2017年度 年間チャンピオン

2017 年お疲れ様でした。

昨年まで頑張ってくれていたアイラが引退し 2017 年はゾラ、シドとフリー。シドも 9 歳になるのでファイナルを目指す最後のシーズンでした。

ファイナルの会場は 6 年前綺羅と優勝し、涙した事思い出深い川口。フリーの脅威であり好敵手であったガイの急逝。

色々な思いの中今年のファイナルを迎える事となりました。

ファイナル当日は無風に近く今シーズンの中ではベストコンディションでした。ゾラもシドも頑張ってくれて優勝と三位を頂く事が出来ました。

応援してくれた家族や友人、山田会長はじめスタッフの皆様本当に有難うございました。

そして我が家の大切な犬たち。いつも私の趣味に付き合ってくれて有難う。

これからもパートナーたちと頑張りたいと思いますので宜しくお願い致します。

一柳浩一 & でとねぇ

2017・ユースオールカマーチャンピオン
第7リージョン リージョナルチャンピオン

でとねぇ（本名：デトネ）は我が家にとって初めてのボーダーコリーで JF 時は1歳7ヶ月でした。

我が家に来て6ヶ月位までレトリーブさえできず、かなり焦りました。

JFA ロングディスタンス日本記録（93m）を持つ故らぶ菜は生後6ヶ月でチャレンジで優勝できる程に成長が早かったので、デトネの成長の遅さに戸惑ってました。

焦らずに育てて行く事を決めて、経験値アップの為に色々な大会に出場しました。

その経験がユース年間チャンプ、ファイナルチャンプ、リージョンチャンプのトリプルタイトルをもたらしてくれたと思います。

そしてユース優勝特権で出場したグラチャンでは3位も獲得できました。

今季は公式オープンに本格的に参戦して頂点を目指します。

最後に、色々とアドバイスを頂いてるお里の間さん、乳母の彩菜ちゃん、そして、サポートに徹してくれてる妻、この世界に引き戻してくれた「くろべぇ」、天国の「らぶ蔵」「らぶ菜」にも感謝します。

柏原克彦 & ACUTO

2017・シニアドッグの部チャンピオン

2017 年度お疲れ様でした。

JAPAN ファイナル出場は、2009 年のユースオープン大会以来 2 回目でした。

今年のファイナルに出場しようと思ったのは、ACUTO も 9 歳に成り後何年一緒にプレー出来るのかなと思い出場することにしました。

ACUTO は、大分から大阪に飛行機で輸送し、大阪から車で新潟に向かいました。遠い遠征でした。

大会当日は、雨も少し降り、グランドコンディションも悪い中、ACUTO は頑張って走ってくれました。

九州の仲間の応援、子供たちの応援、私を応援してくれる全ての方々のおかげで優勝することが出来ましたありがとうございました。2018 年度も ACUTO と一緒にフリスビーを楽しみますので、皆様宜しくお願い致します。

TEAM 福岡県

2017・ユースオールカマー(団体戦)チャンピオン

吉武 竜司 & LUSH
紙漉 祐司 & Sheryl
吉武まな美 & LUSH

団体戦優勝という目標に 2017 年度も頑張ってきました。今年は新潟という遠方でもあったので、一時期は迷いましたが、LUSH と Sheryl の同胎犬での参加は最初で最後になるだろうと思い出作りの為にも出場しました。特に紙漉選手は、選手としては、12 年振りの参加。何か忘れられない思い出を作ってあげたいという気持ちもありました。

もっとも、紙漉選手は帰り道の方が忘れられない思い出になったかもしれませんが (笑)。

Final の 1R 目から上々の出だし。LUSH も Sheryl も物怖じせず、初めての会場でも頑張って走ってくれました。表彰式で「優勝は福岡県チーム」とコールされた時は、3 人でハイタッチをし、喜びを分かち合いました。

2018 年度のフラッグで 3 人のチーム名が載るのをとても嬉しく思います。2018 年度の団体戦はリージョン毎になるという事ですので、“ 福岡県 ” として優勝できた事が更に嬉しさ倍増です！

みんなお疲れ様！　　文責：吉武 竜司

間 美加・一柳浩一 & Deep Sky

2017・ペアの部チャンピオン

元々、ペア大会に出場したのは、翌日のレディースに出場するスカイのガス抜きの為でした。

その為、シーズン最後にバタバタと最低限の5回だけ大会に出場し、ファイナル出場権をゲットしました。

もちろん、目的はスカイのガス抜きなので、一切ペア練習などはせず、ファイナルの時でさえブッツケ本番でした。

お陰で1R目はノビノビとプレーする事ができ、何とシーズンハイスコアの 60pをゲットできました。

予選1位で迎えた決勝Rは流石にベテランの二人でも多少固くなったもののノーミスで 51pをゲット、トータル 111pという縁起の良いポイントで、 2位とは僅か1p差という近年まれに見る高ポイントバトルを制しペア日本一を獲得できました。

まさに無欲の勝利でした。

ガスが抜けたスカイの翌日のレディースの結果は…

聞かないでやって下さい。(笑)

練習もしていないのにロング、ミドルと両方を上手にキャッチするスカイに感謝します。　　文責：一柳 浩一

RESULT JAPAN FINAL 2017 大会結果（決勝進出者のみ）

グランドチャンピオンシップ

順位	氏　名	犬　名	犬　種	ポイント
1位	岩村康一朗	biscuit	ラブラドール	105※
2位	小井　　正	Eldrick	ボーダーコリー	105※
3位	一柳　浩一	でとねぇ	ボーダーコリー	102
4位	谷越久仁夫	環菜	ボーダーコリー	102
5位	三本　欽麗	Pallas Athena	ボーダーコリー	102
6位	山口　朋孝	アミュレット	ボーダーコリー	95
7位	福本　義裕	バッチ	ボーダーコリー	93
8位	木田　伸弥	Jewel	ボーダーコリー	77

※ は、エクストララウンドにて順位決定

レディースチャンピオンシップ

順位	氏　名	犬　名	犬　種	ポイント
1位	高橋　未夢	綱手	ボーダーコリー	80
2位	長谷川政代	ブルー・オーシャン	ボーダーコリー	79
3位	五十嵐香織	Lilli	ボーダーコリー	77
4位	遠山　修子	GENTIL	NZヘディングドッグ	77
5位	松尾　直美	AERA	ボーダーコリー	76
6位	高橋　純代	maia	ボーダーコリー	74
7位	小松崎優美	ミア	ボーダーコリー	72
8位	和田　　瞳	苺	ボーダーコリー	64

スモールドッグチャンピオンシップ

順位	氏　名	犬　名	犬　種	ポイント
1位	三ケ田鈴香	サード	ジャックラッセル	59
2位	桐山　一宏	COSTA	ジャックラッセル	50
3位	加藤　宣文	夢結	ミックス	46
4位	佐藤　一弥	ライリー	シェルティ	43
5位	榎硲　博昭	銀次郎	ミックス	42

フリーフライトD-1MAX

順位	氏　名	犬　名	犬　種	ポイント
1位	澤　　幹子	ZORRA	ボーダーコリー	70.65
2位	間　　美加	Durandal	ボーダーコリー	68.09
3位	澤　　幹子	SID	ボーダーコリー	63.35

ユースオールカマー日本一決定戦

順位	氏　名	犬　名	犬　種	ポイント
1位	一柳　浩一	でとねぇ	ボーダーコリー	101
2位	田澤　秀孝	グータン	ボーダーコリー	88
3位	吉武まな美	LUSH	ボーダーコリー	81
4位	吉武　竜司	LUSH	ボーダーコリー	80
5位	遠山　璃恩	GENTIL	NZヘディングドッグ	76

シニアドッグの部チャンピオン決定戦

順位	氏　名	犬　名	犬　種	ポイント
1位	柏原　克彦	ACUTO	ボーダーコリー	81
2位	池元　英彦	Funk	ゴールデン	74
3位	山王　克宏	セロリ	ボーダーコリー	67
4位	中川　剛彦	瑠可	ボーダーコリー	64
5位	高橋真衣子	PORTIA	ボーダーコリー	64
6位	山本　聖文	クワン	ゴールデン	62

ペアの部チャンピオン決定戦

順位	氏　名	犬　名	犬　種	ポイント
1位	間　　美加 一柳　浩一	Deep Sky	ボーダーコリー	111
2位	高橋　未夢 和田　　瞳	綱手	ボーダーコリー	110
3位	中辻　邦子 中辻　哲治	じゃが丸	ボーダーコリ	78

全リザルトは、ホームページで公開中です。
http://www.frisbeedog.jp/japanfinal2016.aspx

2017 年度 殿堂犬認定　小西由知 & dynamiteGuy

ジャパンファイナルお疲れ様でした。

いつかはガイに殿堂犬を頂けるようにと目標にしていましたが、ガイが突然亡くなってしまいまさかこんな形で頂く事になるとは思ってもいませんでした。

親バカになりますが、dynaMite Guy この子はコートではいつも冷静で、真っ直ぐに私を見てくれ、常に完璧を求める素晴らしい子でした。

コートでの 1 分間は私とガイとの真剣勝負、駆け引き、心での会話が毎回楽しく共にプレーできる喜びでした。

良い結果の時に見せるガイの誇らし気な姿を見ていると、もっとガイを勝たせてあげたいといつも心に思っていました。

コート以外では全く違う子で、ポーっとしていて天然で、寝るときは寝グズを言い、腕枕をして寝付くまで耳をコチョコチョして欲しいと甘えん坊でした。

その姿、ガイの全てが愛おしくて可愛くて仕方なかった。

叶わない事ですが、ガイと一緒に殿堂犬の賞を頂いて、ガイと一緒に喜び抱きしめたかった。

もう誇らし気にするガイの姿を見る事はできないけれど、dynaMite Guy が教えて残してくれた沢山の大切な事を心に刻み、家族、ワンコ達と共に生きていこうと思います。

ありがとうございました。

頑張ったな！ガイ！ お前はすごいな！
ガイ！生まれ変わってもまた一緒に楽しく暮らそうな。
待ってるよ！ガイ。ありがとうな。ガイ！大好きやで。

2017年度 シリーズチャンピオン

島本圭悟 & Lark

毎シーズン、後半に崩れて悔しい思いをしてきました。今シーズンは、早い段階でランキング 1 位になったことで、心に余裕もでき、緊張することなく最後まで戦うことができました。そして、シーズン中に頂いた皆さんからのアドバイスと Lark の走りに助けられ、フリスビーと出会って 15 年！念願のシリーズチャンピオンを獲ることができました。また、思ってもいなかった MIP をいただくこともできました。テントで応援して下さった皆さん、コート周りで声援を送って下さった皆さん、本当にありがとうございました。

ファイナルは残念な結果となりましたが、ファイナル出場ぎりぎりの父も、最終戦でやっと出場を決めて、我が家はピンキリ賞となり、記憶に残るシーズンにもなりました。ファイナルでの Lark の息子エルドリックの活躍を見て、来シーズンは親子優勝を目標に、これからも夢に向かって頑張ってい きます。応援よろしくお願いします。

2017年度 レディースチャンピオン

小松崎優美 & ミア

2017 年度シーズン参戦の皆様&スタッフの皆様、お疲れ様でした。

3 歳になったミアと臨んだ今シーズン、本当に楽しく過ごす事ができました。

まずは、怪我・病気も無く元気に楽しく走り続けてくれた大切な相棒ミアに感謝！ いつもママのフォローをありがとう。

次に、応援隊のリヴ&愛ちゃんに感謝！ 君達が元気でいてくれたから、ママ&ミアはプレイに集中できたんだよ、ありがとう。

そして、会場のタープでご一緒して下さった仲間の皆様に感謝！ 王ちゃんパパ、ルビ山家、サニ家、パセ家、ジェフ家、和尚家、もみー、ジョイパパ、皆さんと過ごした一年間、本当に楽しかった！ 美味しいご飯・スイーツ、温かいコーヒー。皆んなで笑い合い、叱咤激励し合える仲間は、私の宝物になりました。皆んなが居たから、一年間走り続けられました。ありがとう。2018 年度も様々な事に感謝しながら頑張りたいと思います。

2017年度 スモールドッグチャンピオン

佐藤一弥 & ライリー

ルールも知らずにライリーと始めたフリスビー。楽しさをいったん体が覚えてしまうと寒い冬も暑い夏も雨の日、風の日、他の趣味も断ってディスク中心に考えてしまう自分になって行きました。全く私のへなちょこスローを毎度毎度キャッチしてくれるライリーといつも応援してくれた家族には、感謝の気持ちがいっぱいです。

一昨年 4 月に公式デビューして以来、ライリーの上達にスローがついて行けず随分悩みました。橿原のファイナルの爆風に対応出来なかった技術の無さを痛感し、今年は開き直りの 1 年でもあった気がします。そんな中でアドバイスや励ましをいつもして下さった諸先輩方には本当に感謝しております。

今年の目標は、やはりスローの上達と怪我なく事故無く、またファイナルで皆さんにお会い出来ればと今は考えています。

スタッフの方々も有難うございました。そして、今シーズンも皆さん宜しくお願いします。

REGIONAL CHAMPION 2017

- 第 1 リージョン　北海道 / 青森県 / 秋田県 / 岩手県 / 山形県 / 宮城県 / 福島県
- 第 2 リージョン　栃木県 / 茨城県 / 千葉県 / 埼玉県 / 東京都 / 神奈川県
- 第 3 リージョン　群馬県 / 新潟県 / 富山県 / 石川県 / 福井県 / 長野県
- 第 4 リージョン　山梨県 / 静岡県 / 愛知県 / 岐阜県 / 三重県
- 第 5 リージョン　滋賀県 / 京都府 / 奈良県 / 和歌山県 / 大阪府
- 第 6 リージョン　兵庫県 / 鳥取県 / 島根県 / 岡山県 / 広島県 / 香川県 / 高知県 / 徳島県 / 愛媛県
- 第 7 リージョン　山口県 / 福岡県 / 佐賀県 / 長崎県 / 大分県 / 熊本県 / 宮崎県 / 鹿児島県 / 沖縄県

リージョン	競　技	氏　名	犬　名	犬　種	住所
1	ユース	鈴木　崇生	ありす	ボーダーコリー	宮城県
	チャレンジ	谷越久仁夫	だもん	ボーダーコリー	岩手県
	スモール	小野巳年男	ジョン	柴犬	山形県
	レトリーブ	布施　明広	LINK	ジャックラッセル	山形県
	トライアルボール	押切よし子	音々	柴犬	山形県
2	ユース	田澤　秀孝	グータン	ボーダーコリー	東京都
	チャレンジ	稲垣　元彦	海渡	ラブラドール	栃木県
	スモール	山本　聖文	ソロモン	WCスパニエル	千葉県
	レトリーブ	岩村康一朗	Venus	ラブラドール	栃木県
3	ユース	五十嵐祐香	Lilli	ボーダーコリー	新潟県
	チャレンジ	桑名香代子	ISLAY	ボーダーコリー	埼玉県
	スモール	岩城　　均	M	Wコーギー	新潟県
	レトリーブ	宮越　芳信	なお	ボーダーコリー	新潟県

リージョン	競　技	氏　名	犬　名	犬　種	住所
4	ユース	伊藤　嘉信	すぐり	ボーダーコリー	岐阜県
	チャレンジ	長屋由起子	Selenite	ウィペット	岐阜県
	レトリーブ	深見　早苗	パーチェ	ハバニーズ	岐阜県
	キッズ	伊藤　颯真	すぐり	ボーダーコリー	岐阜県
5	ユース	迫田さやか	Rantnaraj	ボーダーコリー	大阪府
	スモール	岩佐　　秋	福	ジャックラッセル	滋賀県
	レトリーブ	渥美　貴久	紅音	シェルティ	滋賀県
6	ユース	古奥やすお	りく	ボーダーコリー	広島県
	チャレンジ	松浦　　茂	クロ	ボーダーコリー	広島県
	スモール	上田　昌二	Arion	ジャックラッセル	兵庫県
	レトリーブ	上田　隆行	桜子	ゴールデン	兵庫県
	キッズ	本條　源樹	福	ボーダーコリー	兵庫県
7	ユース	一柳　浩一	でとねぇ	ボーダーコリー	佐賀県

Photo Gallery
JAPAN FINAL 2017

2017年度シリーズを支えてくださったみなさま

V.I.P. Very Important Pet B.V.

BLACKWOOD SLOW COOKED PET NUTRITION
株式会社 レシアン

1ST CHOICE プレーストチョイス
EARTH アース・ペット株式会社

いつものごはんに PLUS +1 プラスワン
healthyandgoodbalance

SPORTS AUTHORITY

これさえあれば始められる！ JFAオフィシャルグッズ

JFA-SHOPPING
http://frisbeedog.co.jp/hp-data/shop/

Wham-O社製 フリスビー

日本製 Mサイズ・ディスク

布製ディスク Nunosbee

ロングリード

※フリスビーはWham-O社の登録商標です

SKYDOG SPORTS Vol.28
2018年1月号

発行元 日本フリスビードッグ協会
〒950-0993 新潟県新潟市中央区上所中 2-1-6 TEL.025-280-1256 FAX.025-280-1257
URL:http://www.frisbeedog.co.jp